



めざす子ども像… 自他の違いやよさを認め合う子ども
自分で考えて実行できる子

みんなで安全な登下校を

ようやく子どもたちの楽しそうな声が校庭に戻ってきました。普段通りに登校できる日、友だちと一緒に遊べる日を心待ちにしていた子どももたくさんいたことだと思います。

ただ、学校が再開されたとは言っても、新型コロナウイルスの感染拡大が完全に終息した訳ではありません。まだしばらくの間は、「不要不急の外出」や「3つの密の状態」を避けることに留意しながら、毎日を過ごさせていただきたいと思えます。

さて、本来であれば、4月に実施を予定していました『地区児童会』や『大内っ子まもる日』を通して子どもたちの登下校時の交通安全に対する意識を高めていきたいところでしたが、今年度は、臨時休校のためにそれができておりません。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の面では、登校班においても「密の状態」をできるだけ避けさせたいと思っております。つきましては、次の点について、学校でも指導いたしますが、ご家庭におきましてもお子様に声をかけていただくと嬉しく思います。

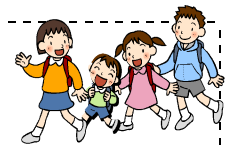
○集合時刻を守り、みんなでそろって登校する。

※ 出発した後で忘れ物に気づいても、家に取りに帰らない。

○1列でまっすぐ歩く。できれば前の人と1～2mの間隔を空けて歩く。

○班長が先頭、副班長が最後尾を歩き、1年生は班員みんなで見守る。

○上級生は下級生のお手本となるような言動を心がける。下級生は上級生の助言を素直に聞く。



子どもたちの登下校の様子を見られて、お気づき等がございましたら、直接声をかけたり、学校に連絡したりしていただくと助かります。

6月の目標「落ち着いた生活をしよう」

6月の目標は「落ち着いた生活をしよう」です。大内小での新型コロナウイルス感染を阻止するためにも、子どもたち一人ひとりが落ち着いて、よく考えて行動してほしいと思えます。

ご理解・ご協力をお願いします

☆これから雨の季節を迎えます。ご家庭でも、次の内容についてご指導ください。

・増水した河川には絶対に近づかない。雨が上がった後も、数日は水位が高く、流れが速い状態が続くため、十分注意すること。

・水面は穏やかに見えても、水中では流れが速く、河床も複雑で滑りやすいこと。

※ 水辺の事故は大人が目を離した際に起こることが多いそうです。離れた場所で見守っていても、不意に溺れると、姿を見失うことがあります。大人が常に一緒に行動することが大切です。

☆米づくりをされる農家の方にとって大切な時期です。次の内容についてご指導ください。

・水田のあぜ道や水路で遊ばない。特に、石を投げ込んだり、水路の仕切り板を抜いたりするなどのいたずらは、農家の方に多大な損害を与えるので、絶対にしない。